

令和6年度 第10回逢妻地域会議 会議録

■日時 令和7年2月19日（水） 午後6時30分～8時

■場所 逢妻交流館 1階 多目的ホール

■出席者

＜委員＞	都築 幸雄（会長）	岡部 千治（副会長）	加納 勝彦
	岡田 一	竹原田 力	杉浦 義元
	松崎 康則	天野 正男	松下 正治
	西 澄弘	岩内 輝義	今村 典生
	千葉 洋	柿本 敏光	鈴木 仁
	原田 裕美		
＜欠席者＞	原田 朋実		
＜事務局＞	塚田 征弘（地域支援課 担当長）	近藤 綾香（地域支援課 主事）	

■次第

- 1 会長あいさつ
- 2 防災に関する勉強会でのご質問への回答
- 3 逢妻地域の課題の解決策の検討について
 - (1) グループワーク
 - (2) 検討内容共有
- 4 その他
 - (1) 任期途中での退任について
 - (2) 令和7年度地域会議スケジュールについて

■議事（要約）

- 2 防災に関する勉強会でのご質問への回答
前回の地域会議で実施した防災に関する勉強会で出たご質問の中で、後日回答とした内容について、事務局から資料のとおり説明した。
- 3 逢妻地域の課題の解決策の検討について
 - (1) (2) グループワークについて
これまでの検討内容を踏まえ、逢妻地域の課題に対する解決策の一つを防災訓練の実施とすることに決定した。
 - 3グループに分かれ、住民の防災意識を高めるためにはどのような内容及び方法で防災訓練を行うと良いか検討した。

(参考)

逢妻地域の課題

住民の防災意識が低く、備えができていない。防災訓練の参加率が低い。

めざす姿

住民の防災意識が高く、災害時に適切な行動をとることができる。

各グループから出た主な意見は以下のとおり。

<A グループ>

『参加したくなる防災訓練』の工夫

- ・ 体験型、ゲーム形式（リアル脱出ゲーム、謎解き、クイズラリー等）
- ・ 実践型（自衛隊の協力のもと、足湯や炊き出しの実施）
- ・ グッズ配付（参加者へのクーポン配付、非常食等の配付）
- ・ スマホアプリの活用（無料かつ自宅等で防災について学ぶことができる）
- ・ 業者のアイデアを借りて魅力的なイベントを実施する。

『住民の防災意識を高める防災訓練』の工夫

- ・ 災害現場の様子展示（パネルや映像の展示）
- ・ 避難所体験コーナー（段ボールベッド、間仕切り体験等）

<B グループ>

『参加したくなる防災訓練』の工夫

- ・ 非常食試食体験（親子交流イベントとして）
- ・ 毎回の環境美化の際に参加者に防災チェックリストを配布し、その場で自治区の組長を中心に住民の備えの状況を確認する。
- ・ 自治区でテーマを決めて訓練を実施（水をろ過して飲料水を作る体験等）
- ・ 参加賞を配付する。

『住民の防災意識を高める防災訓練』の工夫

- ・ 被災経験がある方を招き、体験談を聞く。
- ・ 防災グッズの展示・即売会を実施
- ・ 自治区の車等で定期的に防災に関してPRを行う。
- ・ 災害時の状況を想定し、リアリティを持った訓練を行う。

<C グループ>

『参加したくなる防災訓練』の工夫

- ・ 既存の地域のイベント（ふれあいまつり等）とコラボして親子向けのイベントを実施する。
- ・ サバイバル体験イベントの実施（火起こし競争、即席パン作り体験等）

『住民の防災意識を高める防災訓練』の工夫

- ・ 防災グッズの体験・展示・試食
- ・ 給水車・地震体験車等の体験
- ・ 各自治区での防災の取組を共有し、他の自治区の取組を参考にしてより効果的な防災訓練を目指す。

4 その他

(1) 任期途中での退任について

今年度末で退任意向の委員については、次回の地域会議までに事務局にその旨報告し、併せて後任者についても報告することとした。

(2) 令和7年度地域会議スケジュールについて

事務局から資料のとおり説明した。

●令和6年度 第11回逢妻地域会議

日時：令和7年3月19日（水）午後6時30分～

場所：逢妻交流館 多目的ホール